

## 思考・判断・表現に関する評価規準表

	A	B	C
1	提示された動きのポイントやつまずきの事例に対して、知識を活用して見つけた仲間の課題や出来映えを加えて、動きを交えるなどわかりやすく伝えている。	提示された動きのポイントやつまずきの事例に対して、仲間の課題や出来映えを捉えて伝えている。	提示された動きのポイントやつまずきの事例に対して、伝えている動きのポイントや課題が仲間の出来映えと合っていないかったり、わからなかったりしている。
2	自己の課題に応じて、練習方法を組み合わせたり新たに考え出したりしている。	提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	自己の課題がわからなかったり、自己の課題に適した練習方法を選ぶことができなかったりしている。
3	学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、根拠を示し仲間に伝えている。	学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。	学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えているが、配慮が不十分である。
4	練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、場面や状況などのより具体的な理由を添えて他者に伝えている。	練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。	練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付けられなかったり、理由を添えて他者に伝えられなかったりしている。
5	仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付け、自分の役割に責任をもって行動している。	仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けることができていない。
6	仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、習得した知識を基にチームへの関わり方を見付けている。	仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。	仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けることができていない。
7	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を新たに考え出し、仲間に伝えている。	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。	体力や技能の程度、性別等の違いに配慮できなかったり自分の楽しさにこだわってしまったりしている。